

2023年 1月 17日

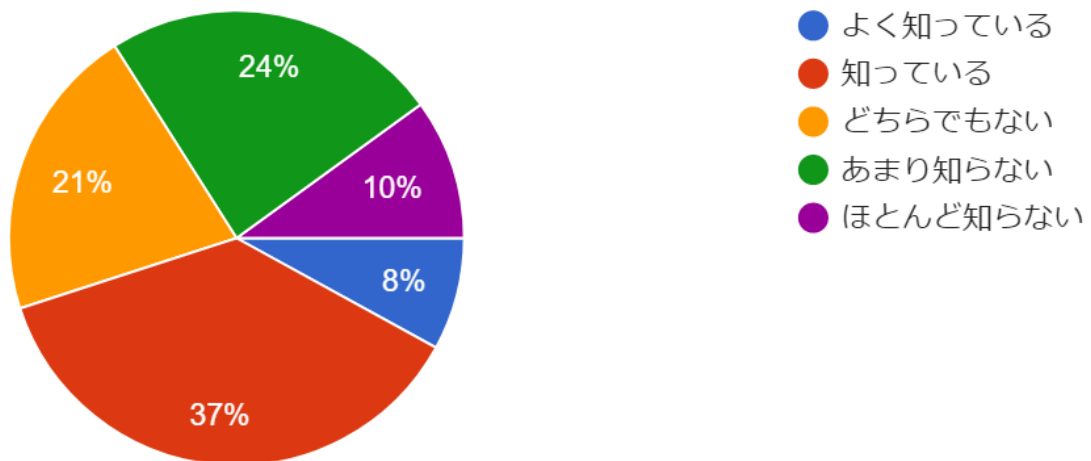
学修行動・成果アンケートについて（3年生）

学長室
教務委員会

2022年度に新入生対象として実施したアンケートについて経年変化を見るために、10月から上級生に向けて実施を行いました。3年生は11月8日から12月21日にかけて実施いたしました。Googleフォームを用いたオンラインで調査を行い、100名からの回答を得ました。

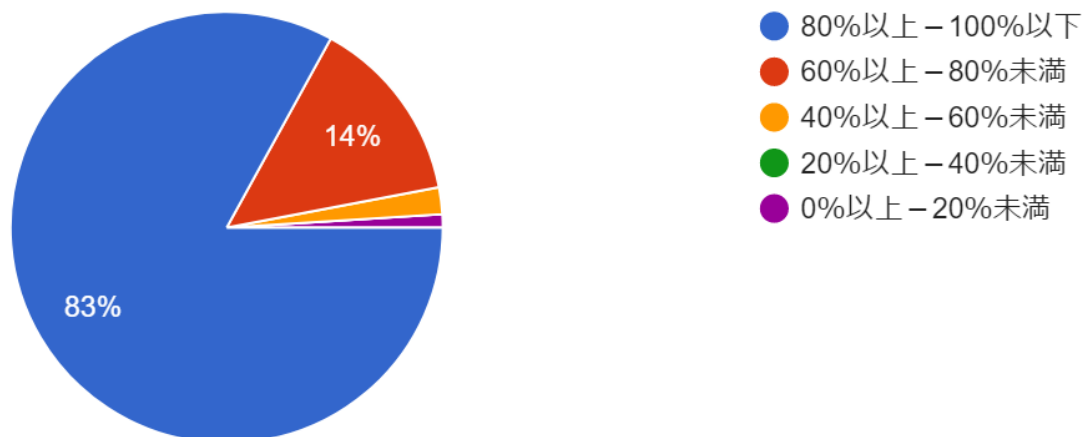
本アンケートは大学の学風の指針、目標についての理解、学修行動（出席状況、取り組み）、教養・専門知識、スタディスキル、社会人基礎力について問うております。それぞれの結果については以下の通りです。

1 高千穂大学の「学風の指針」「学風の目標」について知っていますか。



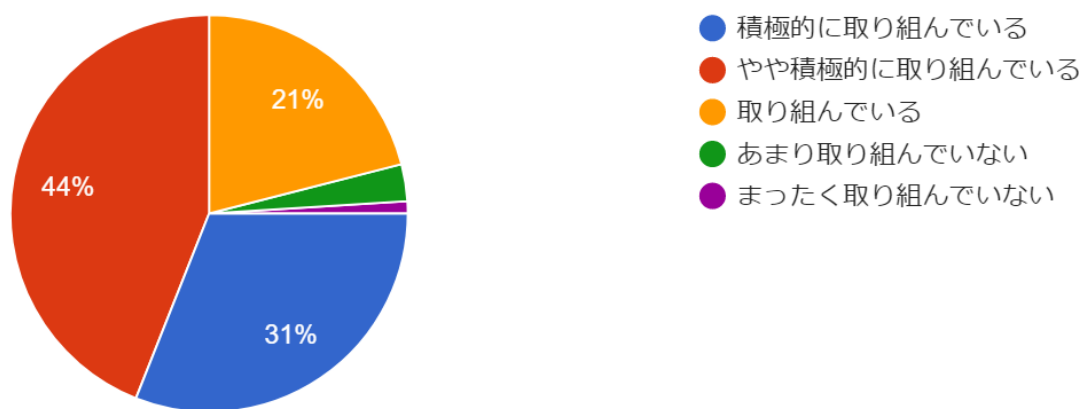
この学年は、新型コロナの影響を受けており、入学時のオリエンテーションが十分に行われていないことの結果となっていると思われる。そのため、今後、オリエンテーションを通じて、本学の学風の指針や学風の目標を説明する必要があると思われる。

2 授業に出席している割合はどのくらいですか。



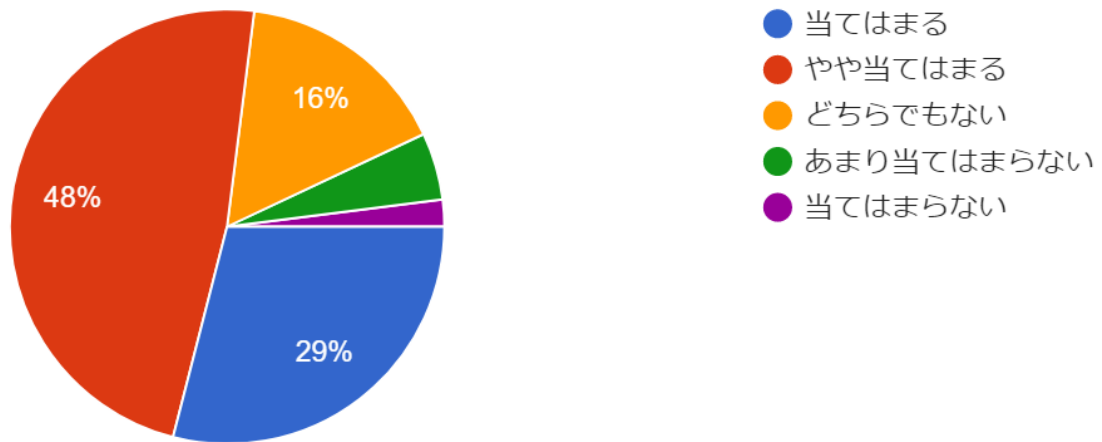
コメント：高い出席率を維持していることが示されている。

3 授業に対して積極的に取り組んでいますか。



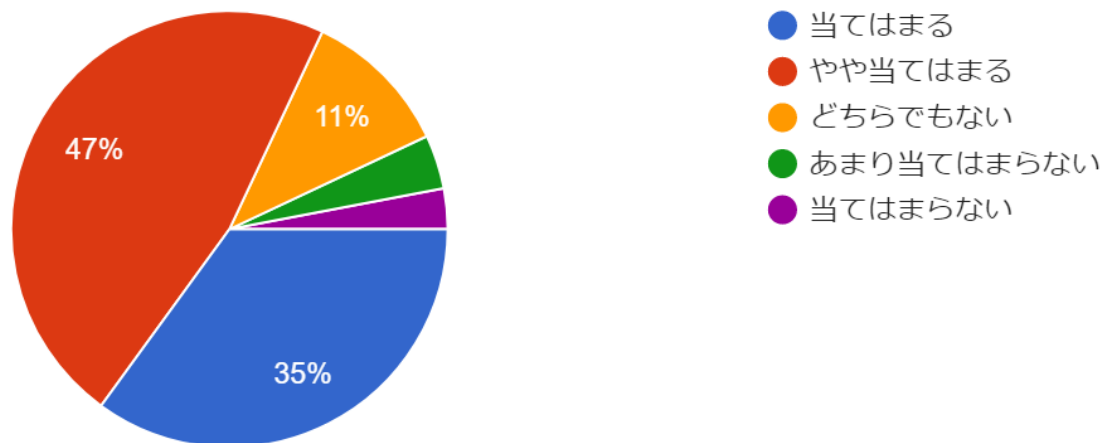
コメント：3年となり、より明確な目標が出来ていることから、授業への取り組みも熱心となっていることが示されている。

4 幅広い知識や教養を身につけている。



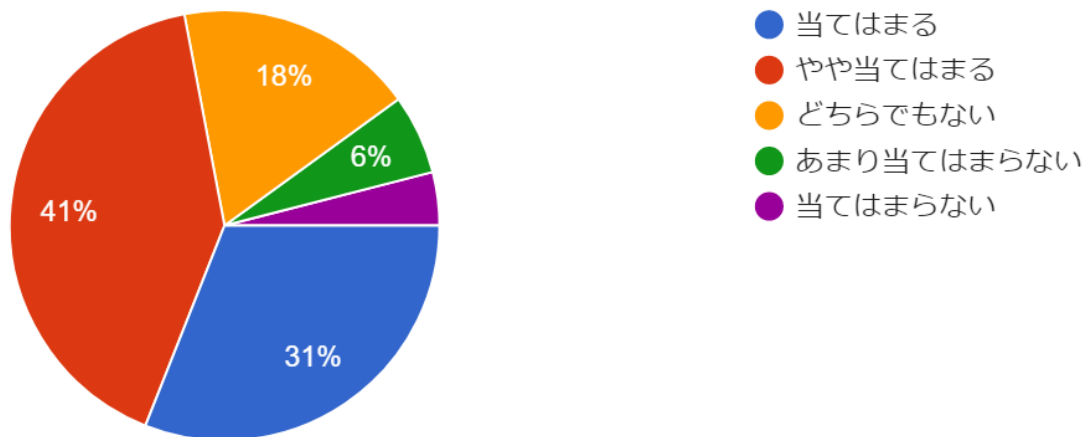
コメント：一通り、教養科目を学んでいるが、一方で、カリキュラムの上の特徴でもある関連科目の学習も行う時期である。この点から、一定の幅広い知識を学んでいるという認識が反映されている。

5 学部・学科で学ぶ専門知識を身につけている。



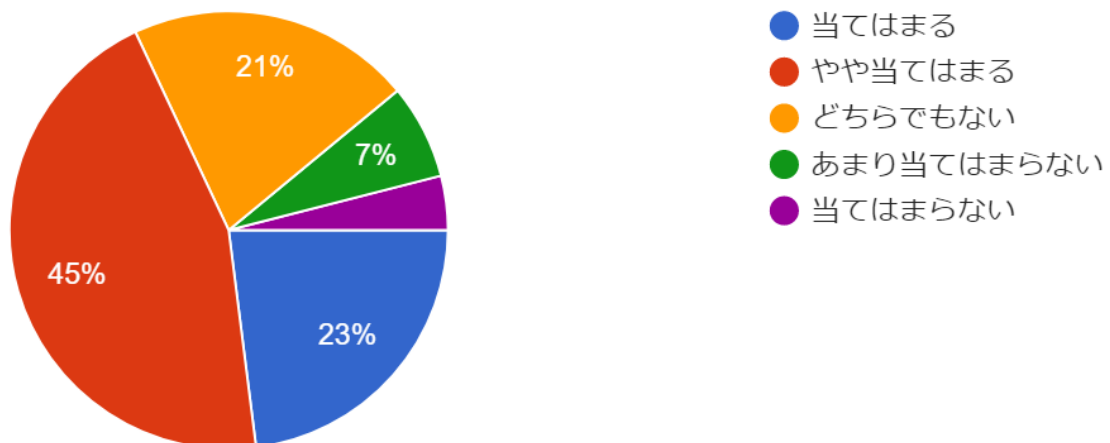
コメント：3年生になるとほとんどが専門科目の履修となるため、専門知識を学び、力をつけているということが反映されている。

6 レポートの作成で必要となる情報収集技能を持っている



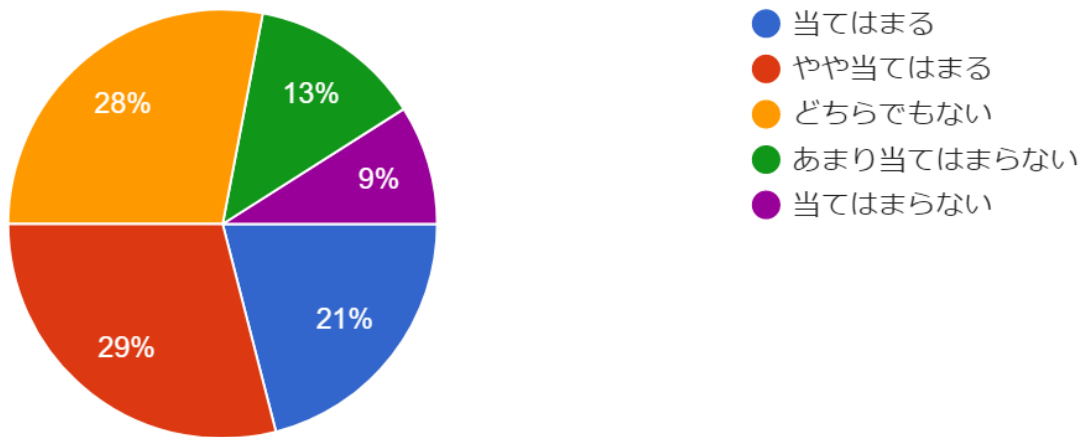
コメント：約 7 割以上の学生が基本的な情報収集能力を有していると回答している。本学での専門教育、情報教育が一定の成果を得ているといえる。

7 レポート作成に必要な文章作成技能を有している。



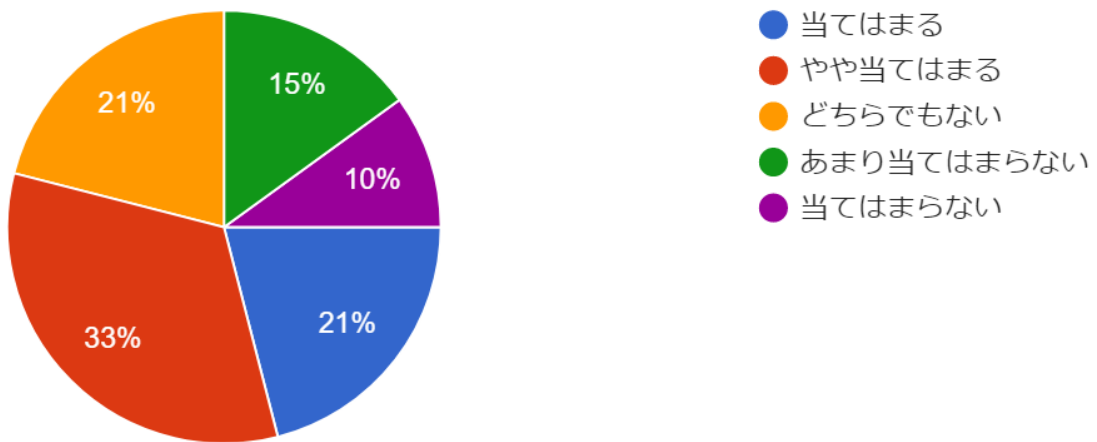
コメント：より高度な文章作成が求められるようになるため、技能について感じている一方で、より高度な能力の必要性を感じているという結果となっている。

8 プレゼンテーション能力を有している



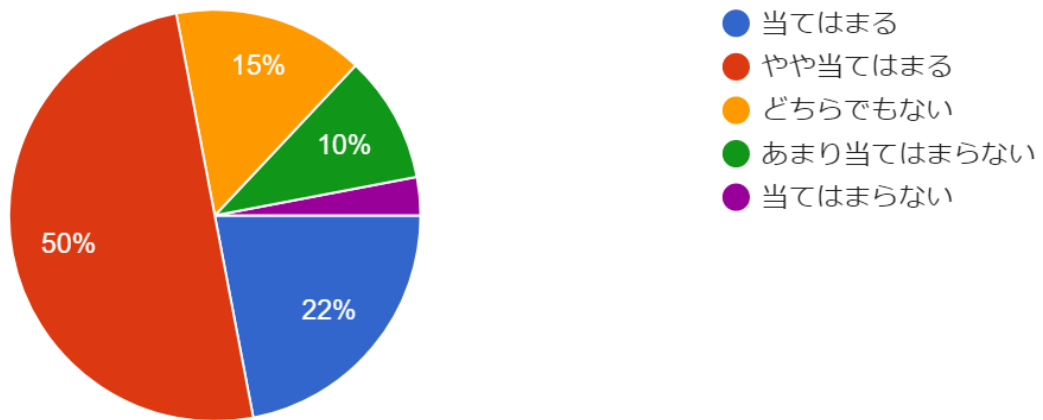
コメント：3年生での発表が多くなるため、プレゼンテーションの機会が多くなる一方で、2022年度は対面での発表であり、人前でのプレゼンテーションの難しさを感じた結果となっていると思われる。

9 前に踏み出す力が身についている



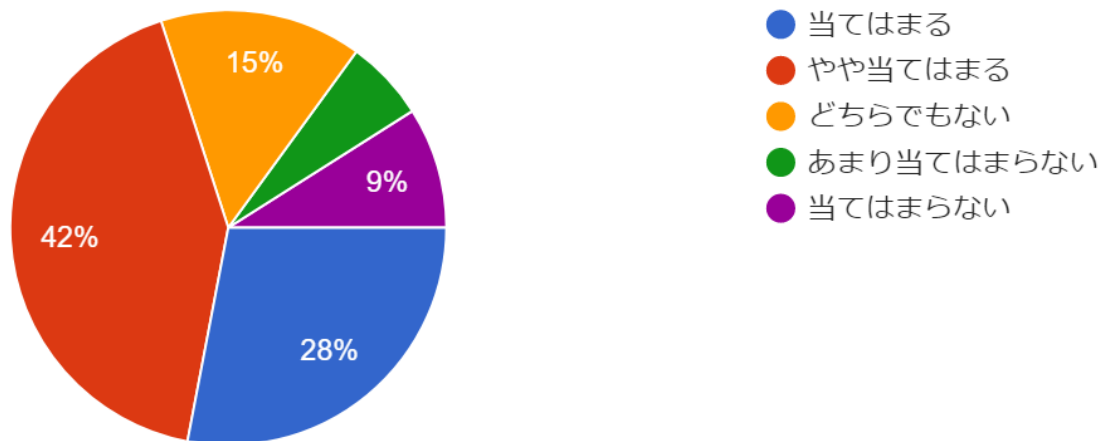
コメント：この学年は、新型コロナの影響を大きく受けた世代があるため、自らが行動しなければならないということを自覚している結果となっていると思われる。

10 考え抜く力が身に付いている



コメント：専門科目の学習が中心となり、難易度が向上することから、考えることが求められているため、難易度と勉強スタイルの関係で、半数がやや当てはまると回答している意図想定される。

11 チームで働く力が身についている



コメント：ゼミ発表会での発表では、チームで発表内容を作ることが多い。特に本学では、分担して発表するケースが多く、その関係からチームで作業をするため、当てはまるおよびやや当てはまると回答する学生の割合が増えている。